



令和 7 年 1 月 8 日
国土交通政策研究所

ビジネスジェット等の活用に向け国内事例を調査しました

～「ポストコロナにおける移動ニーズに対応したビジネスジェット等の活用に関する
調査研究（最終報告）」報告書の公表～

国内の空港周辺地域におけるサービス等の事例について調査及び整理を行い、『アシ』（空港からの二次交通）、『空港』（ビジネスジェット等の受入体制等の状況）、『ウリ』（滞在価値）、『ヤド』（宿泊施設）、『ヒト』（人材）及び『コネ』（売り込み）に関する知見をまとめました。

(1) 背景と目的

ポストコロナにおける利用者ニーズに対応した新たな航空旅客需要の創出は、引き続き課題として挙げられます。また、ビジネスジェット等を利用した地域振興事例を踏まえた具体的な検討を進められていないことも課題として挙げられます。

本調査研究は、定期航空便と比較して、コロナ禍においても旅客需要の変動が比較的小さいという特徴を持つビジネスジェット等の利用環境の改善を図り、地域振興及び地方空港の利用活性化の方策の検討へ寄与する基礎資料を作成することを目的としました。

(2) 調査概要

『アシ』を中心に、国内の空港周辺地域におけるサービス等の事例について調査及び整理を行いました。具体的には、『アシ』としてヘリコプター及び高級送迎車を対象とし、国内事例として、『アシ』に関して 5 事例（ヘリコプター 3 事例、高級送迎車 2 事例）、『空港』に関して 4 空港、『ウリ』『ヤド』『ヒト』『コネ』に関して 4 地域をそれぞれ選定し、各事項に係る調査の結果を整理しました。

『アシ』のヘリコプターに関する知見を 1) 運航等、2) 空港及び 3) 収益性の 3 つの観点で、『アシ』の高級送迎車に関する知見を 1) 人材及び 2) 空港の 2 つの観点で、『空港』に関する知見を 1) 利便性及び 2) 地上支援体制の 2 つの観点でそれぞれ整理しました。また、『ウリ』『ヤド』『ヒト』『コネ』に関する知見もまとめました。

- 本調査研究の概要については別紙をご覧ください。また、本調査研究全体の報告書は右記 URL からご覧ください。 <https://www.mlit.go.jp/pri/houkoku/index.html>

<お問い合わせ先>

国土交通政策研究所 可児(かに)、南(みなみ)、吉原(よしはら)

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-1 四谷タワー15 階

電話: 03-5369-6002(内線 205、204、207) E-Mail: hqt-inquiry-pri@gxb.mlit.go.jp

ポストコロナにおける移動ニーズに対応した ビジネスジェット等の活用に関する調査研究（最終報告）

背景

- ポストコロナにおける利用者ニーズに対応した新たな航空旅客需要の創出は、引き続き課題。
- ビジネスジェット等を利用した地域振興事例を踏まえた具体的な検討を進められていないという課題。

目的

- コロナ禍においても旅客需要の変動が比較的小さいビジネスジェット等の**利用環境改善を図り、地域振興**及び**地方空港の利用活性化**の方策検討へ寄与する基礎資料を作成する。

調査の概要

- 1年目の海外事例調査の結果
空港からの二次交通は富裕層に共通のニーズ。
- 2年目の調査内容
『**アシ**』（**空港からの二次交通**）を中心に、**国内の**
空港周辺地域におけるサービス等※の事例を調査。

※『アシ』に加え、『空港』：ビジネスジェット等の受入体制等の状況、『ウリ』：滞在価値、『ヤド』：宿泊施設、『ヒト』：人材、『コネ』：売り込み

調査対象

『アシ』	（『アシ』種類）	『空港』	『ウリ』等
ルスツリゾート	ヘリコプター	新千歳空港	ニセコ・ルスツ
奥宿 無相荘	ヘリコプター	大分空港	由布院
かりゆしビーチリゾート ・オーシャンスパ ・Space Aviation	ヘリコプター	那覇空港	沖縄
株式会社minorhythm	高級送迎車	<既出> 新千歳空港	<既出> ニセコ・ルスツ
天空の森	高級送迎車 （ヘリコプター）	鹿児島空港	霧島

サービス等

必要な取組に関する知見

『アシ』 ヘリコプター	1) 運航等：バックアップ（陸路移動）の確保、丁寧な調整及び説明 2) 空港：受入体制の整備及び調整 3) 収益性：ヘリコプター使用の他事業との組合せの検討
『アシ』 高級送迎車	1) 人材：地域で育成していく環境づくりの検討 2) 空港：必要な各種の許可・承認の取得に関する支援
『空港』	1) 利便性：専用施設の利用可能時間・利用申込期間の延長、手配可能サービスの拡充 2) 地上支援体制：周辺の空港との連携、人材共有の仕組みづくり
『ウリ』	：観光又は体験内容の工夫、複数の選択肢の提供
『ヤド』	：富裕層等ターゲットを明確化した客室・設備の設置・改装
『ヒト』	：高水準の知見、知識、教養を持つ人材の育成
『コネ』	：地域全体の情報発信や手配を行う体制づくり

まとめ